

平成25年度 宮城県協働教育コーディネーター養成研修会

日 時：平成25年6月5日（水）10：10～16：00 宮城県庁2階講堂
平成25年6月6日（木）10：10～16：00 石巻市桃生公民館

参加者

場 所	区 分	行政関係	地域コーディネーター	教職員	合 計
宮城県庁2階講堂	大河原教育事務所管内	13名	2名	9名	24名
	仙台教育事務所管内	9名	19名	13名	41名
	北部教育事務所管内	4名	0名	7名	11名
	北部栗原地域事務所管内	3名	1名	6名	10名
石巻市桃生公民館	東部教育事務所管内	6名	0名	27名	33名
	東部登米地域事務所管内	3名	8名	11名	22名
	南三陸教育事務所管内	4名	4名	4名	12名
	合 計	42名	34名	77名	153名

県庁2階講堂 6月5日（水）

- 1 開 会
- 2 開会のあいさつ（宮城県教育庁生涯学習課長 三浦 正之）
- 3 講 義

【演題】「協働教育推進のためのコーディネーターの役割について」

【講師】東北学院大学教養学部 教授 水谷 修 氏

協働の根拠

宮城の協働教育の展開

なぜ、協働なのか

連携を可能にする背景

学校支援活動を例に

子どもたち 学校 に何がもたらされるのか

学校支援活動を例に

地域の大人 に何がもたらされるのか

学校支援活動を例に

地域 に何がもたらされるのか

協働のあり方：子どもをどう見るか

コーディネートとコーディネーター

コーディネート

コーディネートの5原則

協働のポイント

ボランティアへの支援

協働教育のおもしろさ

協働教育とは！
コーディネーターとは！
熱く語る水谷先生！



真剣に講演に
耳を傾ける
受講者の皆さん

4 実践事例発表と演習

柴田町，山元町の2町から実践事例発表をしていただき，その後，水谷先生のコーディネートで演習を行いました。演習では，6名の小グループに分かれ，様々な立場の人と意見交換がなされ，有意義なものとなりました。

【演習】各町の事例発表に対して，もっと聞いてみたいことをグループで1つ挙げる。
事例発表者に質問に答えていただく。

【演習】各町の実践が上手くいっているポイントは何かをグループごと探り1つ挙げる。
事例発表者にコメントをいただく。

コーディネーター：東北学院大 水谷教授



【実践事例発表】柴田町教育委員会生涯学習課
社会教育主事 後藤 忠宏 氏



【実践事例発表】山元町協働教育コーディネーター
萱場 裕子 氏，荻原 友美 氏

演習では，各班から「ボランティアリストの作成方法は？」「子ども会活動の活性化策は？」「事業を始めるに当たって心がけていることは？」「講師等への謝金の出所は？」「コーディネーターの選出方法は？」等の質問が出てきました。

演習においては，各町の取組が上手くいってるポイントとして，「充実したスタッフとエネルギーを感じた」「無理せず継続していることが成功の秘訣」「自分の住む町への愛情を感じた」「何よりもスタッフのチームワークがとれている」などの賛辞が多数挙げられました。



各班から積極的に意見が出されました。
どの班も真剣に語り合っていました。

参加者からの声

柴田町の発表の中の情報の共有化については大賛成です。先例に学び，それを自分の市や町に合うようにアレンジ活用させていただくことは，限られた時間内で仕事をしていく上で助かります。

(行政関係者)

もっと伺いたいところ，素晴らしいところをグループで話し合ったところ，同じテーマはなく大変参考になりました。

(地域コーディネーター)

活性化した取組の理由がよく分かるような素晴らしい実践を発表していただきました。すぐにでも参考にして取り組みたいなと思えたことが今日の収穫です。

(学校教職員)

実践事例発表が大変すばらしかった。具体的で今後の参考になりました。今日はこのような話を伺うことが目的だったので大変有意義であった。

(学校教職員)

- 4 「みやぎ教育応援団」について
- 5 閉会のあいさつ

教育庁生涯学習課協働教育班
教育庁生涯学習課協働教育班長

狩野 秀之
佐々木 邦治

- 1 開 会
- 2 開会のあいさつ（宮城県教育庁生涯学習課社会教育専門監 佐藤 新一）
- 3 講 義

【演題】「協働教育推進のためのコーディネーターの役割について」

【講師】青森中央学院大学経営法学部 教授 高橋 興 氏

- (1) 協働教育は、今や後退できない大きな流れ
近年における地域と教育の関わり
「協働教育（地域一体）」が求められる主な背景
- (2) 「要」たるコーディネーターの主な役割
- (3) コーディネーターが役割を果たす環境の整備と課題
コーディネーターが求められることと今後の課題
学校（教職員）が求められることと課題
市町村教委職員等が求められる役割とその課題

教育行政の歴史を絡め
協働教育の必要性など
お話しいただきました



それぞれの立場でどんな
働きをするのか考えながら
聞き入っていました。



4 実践事例発表と演習

東松島市、大和町からそれぞれ実践事例発表をしていただきました。具体的な取組事例が紹介され、参加者からは「すごく参考になった」「自分の町での活動に参考にしたい」などの声が寄せられました。

事例発表の後、前日の県庁会場と同じ要領で演習を行いました。時間の都合もあり十分な話し合いができなく残念でしたが、参加者の皆さんは、和気あいあいとした雰囲気の中、真剣に演習に取り組んでいました。



【実践事例発表】東松島市教育委員会
社会教育主事 渥美 眞佐男 氏



【実践事例発表】大和町協働教育推進本部事業
地域コーディネーター 高橋 春男 氏
馬場 郁子 氏
放課後子ども教室“わいわい” 小野 っ子
コーディネーター 鈴木由紀子 氏

